

平成27年度
第2号

耕人

『耕人塾』
塾長木村民男
平成27年7月18日(土)

試し実践活動に参加して

第4期の『耕人塾』テーマは「世界に誇れる石巻地域にしよう」です。その実践活動として「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」をすることになり、6月20日(土)の第1回研修会で、各班の「試し実践活動」が下記のように決まりました。

- 1班：7月4日(土)7:00 石巻駅集合→立町付近のゴミ拾い(40分間)
- 2班：7月12日(日)6:00 石巻駅集合→立町付近のゴミ拾い(1時間)
- 3班：7月5日(日)8:00 石巻駅集合→立町付近のゴミ拾い(1時間)
- 4班：7月5日(日)14:00 開成ミニストップ集合→開成団地周辺のゴミ拾いと草取り(2時間)
※6/28(日)の予定でしたが雨天のため変更
- 5班：7月5日(日)9:00 石巻駅集合→駅前北通りのゴミ拾い(1時間)

私もそれぞれの班の活動に参加して感じたことは、気を付けてみるとごみが結構落ちていることが分かりました。石巻駅玄関口の大きな櫓を囲む丸いベンチの周辺や植え込みの中にペットボトルや空き缶、たばこの空き箱や吸い殻がたくさん落ちていました。また、石巻市観光物産情報センター脇のごみ集積所のごみ箱はペットボトルや空き缶があふれて周りに散乱していました。駅前の通りや市役所の通りも、駅前北通りや開成仮設住宅前の道路の植え込みの中にもたくさんごみが落ちていて、ゴミ袋が瞬く間に一杯になってしまいました。風で飛ばされてきたごみもありますが、故意に捨てたと思われるものもありました。ごみを拾った後は周りがとてもきれいになり、清々しい気持ちになりました。

ゴミ拾いをしていて、新しい発見もいくつかありました。『耕人塾』のビブスを着て一所懸命ごみを拾う塾生の姿はとても美しいなと感じました。また、友人を誘って参加したり、家族総出で参加してくれたりした塾生もいて、塾生だけではない広がりを感じて嬉しくなりました。4班の活動のときには自宅前の道路の花壇を手入れしている70歳代のおばあさんとお話することができました。「隣近所の人たちも協力してくれるのでいつもきれいな花が咲いているんですよ。手入れをするのが楽しみなんです。」という話を聞き、心が温かくなりました。

『耕人塾』の「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」活動が市民に広がり、石巻地域がもっともっと美しい街、温かい街、思いやりに満ちた優しい街になるといいですね。

「ごみを拾うということ」

10年前に石巻中学校の校長をしていた時のことです。生徒総会で「石中は交通安全指導や健全育成などで地域の方々に大変お世話になっているので、何か地域のためにできないか」という提案がありました。生徒会や先生方と相談をして、川開き祭花火大会の翌日早朝にごみ拾いをするようになりました。自主参加だったのですが1年目は70人、2年目は120人、3年目は200人と年々増え、今でも継続されていると聞いています。

人間が生きているということは、多くの命をいただき、多くの方々に支えられているのだと思います。ですから、他の人のために自分にできることをやることで、±0になるのだと思います。自然や人が喜ぶことを楽しみながら、淡々とやっていきたいですね。 ±0 ±ゼロ プラスマイナスゼロ プラスマイナス0